

令和7年度都立青井高校における教科指導の重点

国語	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」の指導の充実 ・「話すこと・聞くこと」の指導の充実 ・探究的な学びの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間授業計画について共有、確認 ・全学年漢字能力検定試験受験 ・各学年で対話的学習の実施 ・一人一台端末の活用
地歴公民	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な見方・考え方を働かせた活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な資料を読み解く活動の充実 ・一人一台端末等を利用した調べ学習の充実
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的な見方、考え方 ・考え方を活かした数学的活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・事象を数学的に捉え、数学の問題を見いだせる資料作成 ・問題解決の過程において、論理的思考を重視した授業の実施
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・実験を通しての自然現象についての探求活動を重視 	<ul style="list-style-type: none"> ・考察・推論したことや結論について、ICTを利用した表現を生徒同士で共有できるようにする。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共習の拡大に向けて取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力や技能の程度、性別や障害の有無等にかかわらず運動やスポーツを楽しむことができるよう種目の選定を行う。
芸術	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能を基盤とした思考力・判断力・表現力等の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題内容を年間で紐づけ、課題ごとに振り返り、生徒の進度や理解度、表現の幅等を鑑み、重点課題を踏まえ、課題のアプローチ方法を工夫する。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」と「話すこと」への前向きな態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・必修科目にて、学期に1回パフォーマンステストを実施 ・学期に2回、コミュニケーション英語での書く活動の実施
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活に生かす」ための授業実践 ・実践的・体験的な学習活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科会で、授業における指導内容を共有し、指導計画を確認する。 ・座学でも体験的な学習活動を多く取り入れる。 ・生徒の実生活に身近な題材を活用した授業展開を行う。 ・主体的・対話的な学びの機会をつくる。
情報	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題解決」につなげる実習の充実 ・パスワード、IDの管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい教科書を採用し、着実に知識の定着を図る。 ・パソコン、タブレット、M365で活用し、情報のみならず他教科で活用できる力をつける。